



第 63 回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会



2023 年 7 月 1 日(土)～ 2 日(日) 静岡県伊豆市 日本 CSC 伊豆ベロドローム

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟

協力：(一財)日本サイクルスポーツセンター

協賛：公益財団法人 J K A
井上ゴム工業株式会社

(公社) 全国競輪施行者協議会
株式会社パールイズミ

(一社) 日本競輪選手会
WIN AND WIN CO.,LTD(WIAWIS)

Communique No.3-1

2023 年 6 月 29 日

PCP 岩間 光輝

1. 今大会のコミッセルパネルは、下記の通りとする。

岩間光輝、倉田達樹、伊藤将司、藤田将志、芦田千里

2. マディソンにおける注意事項について

マディソンでは一周回以上ラップされた選手は、コミッセルにより除外される。

3. 男子ポイントレース、スクラッチ及びマディソンにおける専用ゼッケンについて

大会受付時に配布するゼッケンとは別に、ポイントレース、スクラッチ及びマディソンでは、専用ゼッケンを使用する。予選、決勝の各レース開始前に配布するので、場内アナウンスに注意し、取りに来ること。各レース参加選手は、番号間違いが無いように当然に自分自身で確認の上、審判が視認できるように**安全ピン**でしっかり取り付けること。(両面テープのみの使用は禁止する。

また、フレーム番号を配布するので、フレームトップチューブ中央にテープ等で取り付けること。(トランスポンドーは装着しないので、ゼッケン及びフレーム番号が選手判別において非常に重要となるため、十分に留意すること。)

4. タイム計測種目の計時について

本大会では、タイム計測種目の計時に電子計時を使用する。各自出走順になったら、速やかに各自のペダル位置を合わせて、自転車のスターティングブロックへのセッティングを担当競技役員に依頼すること。(コーラーは配置しない。)

競技場内よりタイム通知等ができるチーム員は、Individual Pursuit の際の 1 名のみである。

なお、タイム通知等ができるチーム員は、I Dカード着用者に限る。

5. レース出場選手自身による出走の順番の確認について

競技の進行状況の把握に努め、次走者は前のレース終了前に、スタート地点付近にて待機すること。遅れた選手、他の選手と同時にスタート位置に付けない選手は、レースから除外する他、罰則の対象となる。

6. バイクチェックについて

出場選手はバイクチェックを受けた上で、レースに出場する必要がある。

自身の種目に 15 分までにバイクチェックを終えること。なお、検車後は、管理エリアにバイクを保管すること。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。
<http://hoio.keirin-autorace.or.jp/>

<https://www.jicf.info/> (公式のレース結果はホームページへ)





第 63 回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会



2023年7月1日(土)～2日(日) 静岡県伊豆市 日本 CSC 伊豆ベロドローム

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟

協力：(一財)日本サイクルスポーツセンター

協賛：公益財団法人 J K A
井上ゴム工業株式会社

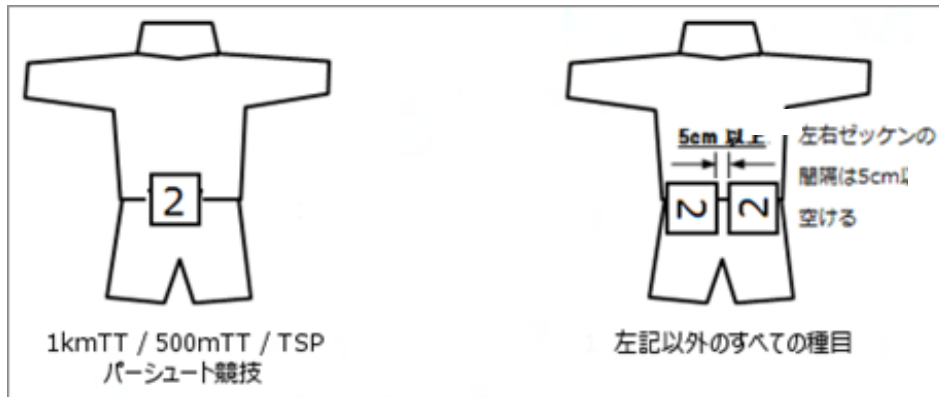
(公社) 全国競輪施行者協議会
株式会社パールイズミ

(一社) 日本競輪選手会
WIN AND WIN CO.,LTD(WIAWIS)

Communique No.3-2

7. ゼッケン位置について

ゼッケンの取り付け位置は下図の通りとし、安全ピンは各自にて用意すること。なお、両面テープでの固定は、剥がれるケースが散見されているため、今回大会では認めない。



8. マディソンについて

同じ学校で2チーム参加する場合は、ジャージ及びヘルメットは色彩を違うものにする。 (厳守とする。当種目に限っては危険防止の観点から一方のチームに旧登録ジャージ等登録以外のジャージを可とする。また、同じ学校から2チーム以上参加する場合は、ヘルメットの色彩で区別することを推奨する。)

9. バンチレースについて

事故等に備えたチーム員は、必要な機材をあらかじめウオームアップエリアの走路入り口付近に準備して待機すること。ただし事故の際にインフィールドに入る際は、コミッセルの許可を受け、その指示に従うこと。

10. バンチレースにおけるニュートラリゼーションについて

ニュートラリゼーション適用の際の周回数は、250mトラックに於いて5周以内となる。

11. タンデムスプリントについて

スタートはパーシュートラインから行い、予選は5周回で行われ、最後の1周を計測する。同タイムの場合は、最後の100mのタイムの良い方を上位とする。それでも同タイムの場合は、抽選とする。

本戦は、250mトラックでは、6周回で行われる。



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。
<http://hoio.keirin-autorace.or.jp/>

<https://www.jicf.info/> (公式のレース結果はホームページへ)





第 63 回 全日本学生選手権トラック自転車競技大会



2023 年 7 月 1 日(土)～2 日(日) 静岡県伊豆市 日本 CSC 伊豆ペロドローム

主催：日本学生自転車競技連盟 共催：(公財)日本自転車競技連盟

協力：(一財)日本サイクルスポーツセンター

協賛：公益財団法人 J K A
井上ゴム工業株式会社

(公社) 全国競輪施行者協議会
株式会社パールイズミ

(一社) 日本競輪選手会
WIN AND WIN CO.,LTD(WIAWIS)

Communique No.3-3

12. 各チームからの必要ホルダーの確保について

スプリント、タンデムスプリント（予選含む）、ケイリン、ポイントレース、マディソン、スクラッチについて、あらかじめ各チームでホルダーを用意すること。

なお、ホルダーは、I Dカード着用者に限る。

13 その他

木製板張りの 250m 走路は、表面抵抗がアスファルトに比べ低いため、低速での走行はスリップによる落車の危険性が大きいので、選手各位は十分注意して走行すること。

※Remarks ニュートラリゼーションについて

(ニュートラリゼーション)

22. 別途定めがある場合を除き、バンチ・レースにおいては、競技者 1 名またはマディソンのチームの両名に認められる事故が生じた場合、競技者またはチームは、事故時から彼が事故前に占めていた位置に復帰するまで、1,250m に近い距離の周回数（250m トラックにおいて 5 周回）のニュートラリゼーションの権利が与えられる。1,250m を超えてからは、事故前に彼らの占めた位置に復帰するまで、ニュートラリゼーションを与えられた競技者またはチームは、周回を失い始める。
- ニュートラリゼーションを与えられた競技者またはチームは、最後の 1km 以内ではトラックに復帰できない。認められる事故により与えられたニュートラリゼーション中にこの最後の 1km に入り、競技者が最後の 1km が始まる前に復帰できなかった場合、これら競技者またはチームは事故前に蓄積したポイントおよび周回に基づいて最終結果を得る。（以上 J C F 規則より抜粋）



この大会は競輪の補助を受けて実施いたします。
<http://hoio.keirin-autorace.or.jp/>

<https://www.jicf.info/> (公式のレース結果はホームページへ)

